

会 議 録

1 会議名

令和5年度第8回安塚区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項（公開）

（1）令和4年度の「安塚雪だるま高原」における市の収支状況等について

（2）令和5年度冬期道路交通確保除雪計画について

○協議事項（公開）

（1）地域協議会活動報告会の開催について

○その他（公開）

3 開催日時

令和5年11月28日（火）午後6時30分から午後8時30分まで

4 開催場所

安塚コミュニティプラザ 3階 大会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：池田裕夫、池田康雄、石田ひとみ、小松光代、新保良一、中村真二、

外立正剛、秦克博、松苗正二、松野修、吉野誠一

・事務局：安塚区総合事務所 小林所長、山崎次長、小林市民生活・福祉グループ長（併

教育・文化グループ長）、村松班長、萬羽主任

・浦川原区総合事務所：竹田次長、大島建設グループ長、滝澤主幹

8 発言の内容（要旨）

【松苗正二会長】

・会議の開会を宣言

・山岸委員の欠席を報告

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

本日の会議録の確認は、内規により私の方で対応する。

それでは、次第2報告事項(1)令和4年度の「安塚雪だるま高原」における市の収支状況等について、から議事を進めていく。

本日は、浦川原区総合事務所の職員が出席されているので、説明を求める。

【浦川原区総合事務所 滝澤主幹】

資料No. 1に基づき、令和4年度の「安塚雪だるま高原」における市の収支状況や主な取組の内容等を説明。

【松苗正二会長】

説明の内容について、質問のある方はいるか。

【吉野誠一委員】

「グランピング」や「インクルーシブ」など、専門的な横文字の用語が多くて分かりづらい。「グランピング」は、「グラマラス」と「キャンピング」を掛け合わせた造語であると思うが、ほとんどの人が分からないと思う。また、「インクルーシブ」は、障がいの有無や性別も含めてすべてを包括するという意味であると思う。それぞれもう少し詳しく説明をお願いしたい。

【浦川原区総合事務所 滝澤主幹】

「グランピング」とは、華やかなという意味を持つ「グラマラス」と「キャンピング」を掛け合わせた言葉である。簡単に言うと、吉野委員が言われたとおり豪華なキャンプのことである。テントやキャンプ道具を用意しなくても、レストランの中でグリルの火を使ったりして、気軽にキャンプ気分を味わうことができる。一般的なキャンプに比べて料金は高くなるが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、ソーシャル・ディスタンスの確保が求められる状況の中で、キャンプ人気の高まりとともに、キューピットバレイでも大きな集客が得られた。

また、「インクルーシブ野外教育」については、学校の教室の中だけでなく、野外学習においても誰一人取り残さないという考えの下で、様々な工夫によって、実施するものである。スキー場全体にバリアフリーを導入することは難しいが、アイデアと専門的な道具の活用によって、障がいの有無や年齢、国籍等に関わらず、どなたでも楽しんでいただけるように整備を進めているところである。

今年度は、スキースクールのインストラクター14人から、専門的な知識と技術を取得するための講習を1年間受講していただいている。来年度以降、少しずつ受入れを進めていきたいと考えている。今冬については、市内の学校4校から、障がいのある子ども

たちを受け入れている。

【吉野誠一委員】

「グランピング」は、テントの設営や食材の準備等をしなくても、気軽に楽しめる点が魅力であると思う。ビレッジの利用率はどれくらいか。

【浦川原区総合事務所 滝澤主幹】

資料No. 1に利用状況を記載しており、令和4年度のビレッジ宿泊者数は1,341人となっている。このうち半数以上がグランピングによる利用であり、残りが越後田舎体験の子どもたちの受入れによる利用となっている。

【吉野誠一委員】

承知した。

【松苗正二会長】

ほかに質問等はあるか。

【外立正剛委員】

資料No. 1の市の収支状況を見ると、収入が540万円、支出が約1億6,700万円となっており、約1億6,200万円が市の持ち出しとなっているように見える。指定管理者の株式会社スマイルリゾートの収益は、黒字であったという説明を聞いたが、これだけ多額の公費を投入することについて、住民の理解が得られていると言えるか。

安塚町時代からの重要な施設として、これまで整備を行ってきたことは理解している。今後も施設を維持していくため、補助金や起債を活用しながら、整備を行うという説明も聞いているが、財政面も含めて大丈夫なのか教えてほしい。

【浦川原区総合事務所 滝澤主幹】

これまで地域協議会委員の皆様には、キューピットバレイ新第2リフト建設事業の工事が開始されるタイミングなど、機会を捉えて説明させていただいている。

市が所有する様々な公の施設において、キューピットバレイスキー場は、未来永劫とまでは言えないが、一定期間維持すべき施設という位置付けになっている。設置後30年以上が経過し、設備も老朽化していることから、寿命を延ばしていけるように整備を行うという方針も示されている。

このまま既存の設備を使用し続けた場合、古いものを修繕するのみとなり、そこに一般財源を注ぎ込むこととなる。今回の新第2リフト建設事業においては、過疎債という有利な起債を活用できるという点も一つの判断基準となっている。このまま随時修繕していても、毎年1億円というような費用がかかるのであれば、有利な起債を活用して

新しいリフトを建設した方がよいのではないかとということで整備計画を提案し、市議会でも承認いただき、整備を進めているところである。

安塚区また上越市にとって、唯一の本格的なスキー場であり、整備をして皆様から大切に使っていただくとともに、指定管理者の株式会社スマイルリゾートにおいては、集客の拡大を図りながら、経済効果を上げていただければと考えている。

【外立正剛委員】

承知した。

【吉野誠一委員】

指定管理料の再算定による増加額について聞きたい。これは、例えば大雪による交通障害や感染症の拡大等によって、本来得られるはずであった利益が得られなかったという場合に、指定管理料を再算定するというものであると思う。令和4年度は約1,700万円と大きな額になっている。指定管理者との間で内容を見直すということは考えているか。

【浦川原区総合事務所 滝澤主幹】

現在、株式会社スマイルリゾートとは、5年間の指定管理に関する協定を締結している。現在の協定は、新型コロナウイルス感染症が拡大している時期に締結したものである。協定の中には、年度終了時の実際の実績に応じて、指定管理料を精算するという条項が入っている。

精算の内容としては、吉野委員が言われたような様々な要素が考えられる。今回の場合、新型コロナウイルス感染症の影響によって本来得られるはずであった収入に対する差額と、エネルギー価格の高騰による影響を勘案し、指定管理料を再算定している。この条項は、雪だるま高原に限らず、指定管理に関する協定全般に入っているものである。

【吉野誠一委員】

それらの条項を見直す必要性について聞いたかった。5年間の協定でやむを得ない部分もあると思うが、新たに協定を締結する際、市がそこまで大きな補填をしなくてもよいように内容を検討する必要があるのではないか。エネルギー価格の高騰に伴う支援は、国の施策で進めたものであると思うが、感染症や大雪等の影響による補填については、条件を見直す必要があるのではないか。その辺りの考えはいかがか。

【浦川原区総合事務所 滝澤主幹】

5年間の協定締結に当たっては、その時点の社会情勢を考慮しなければならない。また、指定管理者からは、なるべく指定管理料を抑えて営業を行うという営業計画が示さ

れるものと考えている。それを踏まえて補填の在り方も検討することになる。新第2リフト完成後は、新しい展開が将来計画として示されている。現在の協定期間が終了し、新たな協定を締結する際は、計画の実現性を含めて、市と指定管理者双方が吉野委員の言われた視点も持ちながら、検討を行うものをご理解いただきたい。

【吉野誠一委員】

承知した。

【松苗正二会長】

ほかに質問等はあるか。

【池田康雄委員】

新第2リフト完成後は、10万人の集客を目指すことになっていると思う。そのためには、宿泊の受入れ体制を整備する必要があるのではないか。今年度、老朽化の著しいビレッジを数棟修繕していたが、今後同様に修繕しなければいけないビレッジがほとんどであると思う。今後の宿泊の受入れについて、どのように考えているか。

【浦川原区総合事務所 滝澤主幹】

ビレッジについては、株式会社スマイルリゾートから提案いただいている計画に沿って営業を行っている。令和2年度は全くビレッジを使用していない。令和3年度から宿泊を受け入れており、令和3年度は581人、令和4年度は1,341人という実績になっている。

冬は夏以上に費用がかかることから、一定程度の集客がなければ、赤字を増やすだけになってしまう。今後の動向にもよるが、新第2リフトの利用が始まるシーズンを契機に、教育旅行の受入れやインバウンドの復活を目指すという計画をいただいている。そうしなければ、10万人という集客目標を達成することはできない。計画に沿って取組を進めているということをご理解いただきたい。

【池田康雄委員】

承知した。

【松苗正二会長】

ほかに質問等はあるか。

(質問なし)

ほかに質問等がなければ、以上で令和4年度の「安塚雪だるま高原」における市の収支状況等についての報告を終了する。

次に報告事項(2)令和5年度冬期道路交通確保除雪計画についての報告に移る。

本件についても、担当の浦川原区総合事務所の職員に説明を求める。

【浦川原区総合事務所 大島建設グループ長】

資料No. 2及び別冊資料に基づき、令和5年度冬期道路交通確保除雪計画書の内容を説明。

【松苗正二会長】

説明の内容について、質問のある方はいるか。

【吉野誠一委員】

2点お願いしたい。

1点目は夜間除雪についてである。日中除雪の終了後、残業等で帰宅時間が遅くなったとき、須川地内や真萩平地内の辺りで坂道を上っていけないことがある。安塚区では、30センチくらい一気に積もるので、実際に苦情も出ていると思う。安塚区地域協議会でも、そのような事態を想定して、冬期間は会議の開始時間を早めている。また、幹線道路から沢伝いに小さな集落が点在しているのが安塚区の特徴であり、早朝除雪までの間に緊急事態が発生し、緊急車両が上っていけないという状況も起こりうる。人命に関わる問題であり、その対応についての考えを聞きたい。

2点目は融雪剤の配布についてである。安塚区の集落内道路は、和田地内の辺りを見ても分かるが、坂道が急坂であり、除雪車が通った後につるつる滑って危ない。塩化カルシウム等の手配をどのように考えているのか、聞きたい。

【浦川原区総合事務所 大島建設グループ長】

夜間除雪について、除雪計画書上は積雪が15センチ以上かつ本部が必要と判断した場合に出動すると記載されている。早朝除雪の出動も考慮し、限られた除雪車の台数やオペレーターの人員のやりくりによって、対応しているというのが実情である。昨冬については、夜間除雪を極力行わず、市民の皆様からご理解とご協力をいただきながら、除雪作業を行っていた。

しかし、数時間で30センチや40センチを超えるような異常降雪になると、除雪業者も手が回らなくなってしまう。狭いところや急勾配なところまで、全ての路線を空けることは非常に難しく、必要最小限の除雪にならざるを得ないと考えている。曖昧であるというご指摘もあると思うが、実際の雪の降り方に応じて、限られた除雪車の台数とオペレーターの人員の中で、なんとか市民の皆様の生活を確保していきたいと考えているので、ご理解いただきたい。

また、緊急車両について、東頸消防署に照会したところ、東頸消防署の方でも除雪の

出動状況を随時確認しながら、除雪されていない状況を確認した場合には市へ連絡を入れるという体制をとっているとのことであった。

次に融雪剤の配布についてである。橋や勾配が急な箇所に塩化カルシウムの散布を行っているが、市でも気づかない箇所があるため、現地を確認し、必要があれば散布を行っている業者に依頼することとしたいと考えている。

【吉野誠一委員】

その場その場の対応になってしまっていると思う。救急車が上れないことが分かった時点で、東頸消防署が市へ連絡し、それから除雪に出動しても患者は待ってくれない。その辺りの対応をもう少し明確にすべきではないか。

【浦川原区総合事務所 大島建設グループ長】

市の職員も降雪予報等を随時確認しながら、東頸消防署と連絡を密にとって、早急に対応できるよう努めている。

【吉野誠一委員】

山間部へ行けば行くほど局所的な天候になると思う。私もどうやって解決すればよいのか分からないが、市の方でももう少し具体的な方向性を示してほしい。

【浦川原区総合事務所 竹田次長】

貴重なご意見をいただき、感謝申し上げます。吉野委員が言われたとおり、特に高齢者を始めとする緊急時の対応については、我々も緊張感をもって取り組んでいる。市内や区内のどこでどのような緊急事態が発生するか予測しきれない部分もあるが、当番の職員を配置し、気象条件等の確認も含めて対応にあたっている。吉野委員のご意見については、要援護者の対応に関連する部分も含まれるため、関係する町内会等とも連携をとりながら、緊急時に迅速に対応できるような備えを進めていく。

【吉野誠一委員】

承知した。

【松苗正二会長】

ほかに質問等はあるか。

【外立正剛委員】

市の予算において、除雪に要する経費は大きな割合を占めていると思う。

以前、住民の方から春先除雪について質問を受けたことがある。春先除雪の必要性は理解できるが、中にはすぐに消えることが分かっているのに、排雪している場合もあるのではないかという内容であった。相当な経費をかけて実施していると思うので、必要

性をきちんと検討した上で実施してほしい。

【浦川原区総合事務所 大島建設グループ長】

作業に当たっては、事前に除雪業者から作業計画書が提出される。引き続き計画の内容をしっかりと確認し、無駄な排雪等を行わないように管理・監督していく。

【外立正剛委員】

承知した。

【松苗正二会長】

ほかに質問等はあるか。

(質問なし)

私から1点お願いしたい。私は今年から自治会長を務めているが、道路除雪の終了後に毎年同じ場所が削れ、陥没している。陥没の小さい箇所は、連絡するとすぐに対応してもらえるので、それほど問題はないと思っている。しかし、深さ10センチ、半径1メートル50センチ程度の大きな陥没の箇所については、なかなかすぐに対応してもらえていない。予算的に入札等で時間を要するのかもしれないが、応急処置でもよいので、何かしらの対策を早急にとってもらいたい。

【浦川原区総合事務所 大島建設グループ長】

ご迷惑をお掛けしており、申し訳ない。連絡をいただいた際は、早急に現地確認を行い、車両の通行等に支障が生じないように対応していきたいと考えている。

【浦川原区総合事務所 竹田次長】

陥没の小さい箇所については、市の道路等管理員によって直営ですぐに穴埋め等の対応を実施している。しかし、陥没の大きい箇所については、松苗会長が言われたとおり、入札等の手続に時間を要してしまうというのが実情である。陥没の大きい箇所は、1か所のみではないというふうに考えており、路線全体を見ながら、フィニッシャーという機械を持ってきて修繕を実施することになるため、できる限りその路線全体の修繕を一度に実施したいという面もある。

いずれにしても、危険な箇所については、まずバリケード等を設置して周知を行い、できる限り早急に現場作業に入られるように努めていきたい。被害を発見した際は、通報いただければ、現場確認も含めて対応させていただくのでよろしくお願ひしたい。

【松苗正二会長】

説明された内容はよく分かるが、幅員3メートルほどの道路で深さ10センチ、半径1メートル50センチくらいの陥没がみられる箇所がある。以前、除雪に関する意見の

照会があり、それらの状況も含めて市へ伝えさせていただいた。状況については、当然除雪業者も把握しているものと考えているので、降雪期前に除雪業者と市で打合せを行い、毎年同じ被害が発生しないような除雪方法を検討してほしい。

また、入札等の関係で修繕の実施に時間を要する場合であっても、碎石を入れて薄いアスファルトをまいて転圧するといった応急処置は、早急を実施してほしい。

【浦川原区総合事務所 竹田次長】

ご指摘のあった具体的な場所については、後ほど確認させていただく。幅員が狭く、バリケードの設置が難しいような箇所については、今ほど松苗会長からいただいたご意見のような方法も含めて早急に対応し、通行に支障が生じないようにするのは当然のことであると考えている。

また、降雪期前には、除雪業者とともに状況を確認させていただく。

【松苗正二会長】

承知した。

【新保良一委員】

陥没の小さい箇所は、市の道路等管理員が直営で対応するという説明があったが、マーキングしたのみで対応されていない箇所もあると思う。

【浦川原区総合事務所 竹田次長】

マーキング箇所については、基本的に補修すべき箇所であるというふうに考えているが、中には少し経過観察を行うこととしているものも含まれる。すぐに対応すべきと考えられる箇所を発見された際は、町内会を通じてご連絡いただきたい。市で全ての箇所を把握することは難しく、皆様のご協力をいただきながら、対応していきたいと考えているのでよろしくお願いしたい。

【新保良一委員】

承知した。

【松苗正二会長】

ほかに質問等がなければ、以上で令和5年度冬期道路交通確保除雪計画についての報告を終了する。浦川原区総合事務所の職員はここで退席となる。

(浦川原区総合事務所職員退席)

次に次第3協議事項(1)地域協議会活動報告会の開催についての協議に移る。

【萬羽主任】

前回の地域協議会における意見等を踏まえ、地域協議会活動報告会の開催について、

協議いただきたい旨を説明。

【松苗正二会長】

説明の内容について、質問のある方はいるか。

(質問なし)

特に質問等がなければ、はじめに地域協議会活動報告会の開催について、皆さんの意向を確認した後、開催日時や会場等の協議を進めていく。

池田裕夫委員はいかがか。

【池田裕夫委員】

前回の地域協議会では、4年間の活動内容を報告する機会を設けた方がよいという雰囲気があったと思う。

【松苗正二会長】

実際にそのような意見も出ていたので、地域協議会活動報告会を開催することで決定したいと思う。

次に開催日時と会場についての協議に移る。

【松野修委員】

1月下旬から2月中旬までの間で開催すればよいと思う。

【小松委員】

2月下旬にはキャンドルロードもあるので、あまりその時期に近くない方がよいと思う。

【松苗正二会長】

事務局の方で何か案として考えている日はあるか。

【萬羽主任】

あくまでも事務局案であるが、2月13日(火)から2月16日(金)までの間で開催していただければと考えている。その間の安塚コミュニティプラザの予約状況を確認したところ、いずれも予約可能となっている。

【池田裕夫委員】

時間は日中と夜のどちらを想定しているか。

【萬羽主任】

最終的には皆様の方で決定いただくことになるが、4年前は平日の午後6時から開始していた。町内会長や自治会長、区内各種団体のほか、地域住民の皆様からも広く参加いただきたいという点を踏まえると、平日の午後6時または6時30分開始がよろしい

のではないかと考えている。

【松苗正二会長】

事務局から説明があったが、2月13日（火）から2月16日（金）までの間は、安塚コミュニティプラザも予約可能とのことである。その4日間の中で都合の悪い日はあるか。

【吉野誠一委員】

先のことでまだ分からない。

【池田裕夫委員】

2月13日（火）は都合が悪い。

【松苗正二会長】

2月14日（水）に開催することとしてよろしいか。

（「はい」の声多数）

開始時間は午後6時からでよろしいか。

（「はい」の声多数）

それでは、地域協議会活動報告会は、2月14日（水）午後6時から開催する。

次に地域協議会活動報告会の内容についての協議に移る。参考資料として、4年前の資料を事前に配付してもらっているが、今回の内容について、何か意見のある方はいるか。

（意見なし）

特に意見はないようであるが、開催日までまだ時間があるので、次回の地域協議会の際に改めて確認させていただく。

以上で地域協議会活動報告会の開催についての協議を終了する。

次に次回の地域協議会開催日を確認する。通常であれば、次回は12月26日（火）の開催となるが、事前に正副会長と事務局で打合せを行った結果、年末のため、1週早めて12月18日（月）の週に開催したいと考えている。皆さんの都合が良ければ、12月18日（月）に開催したいと思うが、よろしいか。なお、次回から3月までは午後6時開始となる予定である。

（「はい」の声多数）

それでは、次回の地域協議会は12月18日（月）午後6時から開催する。

次にその他連絡事項に移る。

令和5年度「大・浦・安」地域協議会委員研修会の開催結果について説明。

【萬羽主任】

リバーサイドロードの花壇の維持管理等に関するアンケート調査等について説明。

令和5年度安塚区町内会長・自治会長合同会議の開催について説明。

令和6年新年祝賀会の開催について説明。

【小林市民生活・福祉グループ長（併教育・文化グループ長）】

安塚中学校閉校記念式典の開催結果について説明。

3区中学校統合実行委員会たよりについて説明。

クマの出没状況と注意喚起について説明。

【松苗正二会長】

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

安塚区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-592-2003（内線23）

E-mail：yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。